令和5年10月～令和6年3月（令和5年度No.22～）

22 道路のセンターライン等の引き直し要望について

<令和5年10月26日>

（匿名）

郡山で車どうしの事故で家族が亡くなりましたね。その後、その近辺では白線の引き直しや標識等の整備がされたかと思います。二本松市でも市内だけにかかわらず国道以外の道路のセンターラインが消えている所が多く見られます。（止まれ、停止線もです。）

高齢者ドライバーだけでなく、ラインが見えなくなっているせいか対向車線からはみ出してくる車も増えている様に思います。とても危険だと思いながら運転しています。出来るだけ早急にラインの引き直しを要望します。特に東和地区～安達方面路線です。

【担当課で内容を確認しました。改善に取り組みます。貴重なご意見ありがとうございました。】

24 住民非課税世帯および低所得の子育て世帯のみへの給付金支給に対する不公平の認識について

<令和6年1月31日>

（匿名）

※住民税非課税世帯ばかりに給付金(さまざまな)を支給するのは「不公平」だと思います。低所得の子育て世帯等への給付金も同じです。頑張って働いて税金を払ってギリギリで生活している家庭も沢山あります。「不公平」を認識できないのでしょうか？(収入があっても支払が多いのが現状です)どうお考えですか？

【これらの給付金は国の交付金を活用した事業であり、支給対象者については物価高騰が「特に家計への影響が大きい世帯」として非課税世帯や低所得子育て世帯が適当である判断されたものです。なお二本松市では子育て世帯に対し「令和5年度二本松市子育て支援給付金」として、所得状況にかかわらず児童1人あたり3万円の給付を実施しました。】

25 二本松市民交流センター職員の勤務態度について

<令和6年2月1日>

（匿名）

市民交流センターについて

第三セクターといっても、税金の無駄使いについて、長年にわたり勤務している職員、男性・女性が仕事をしないで毎日、私語ばかりです。

市民の窓口になっているにもかかわらず対応をしない、毎日、新聞のチラシを見て雑談三昧です。なんとかしてほしいです。(上司がいる時は普通です。ギャップがすごいです。)

【担当課で内容を確認しました。改善に取り組みます。貴重なご意見ありがとうございました。】

26 城山庭球場への壁打ち専用コート設置検討について

<令和6年2月7日>
(本町 齋藤 富藏)

二本松市の城山テニスコートの利用について一つ提案があります。
12面(6面×2)あるコートの一面を利用して壁打ちの出来るコートを作ってほしいと思っています。年間の日中時間の利用が常に満杯状態になる事はないと思いますので一面利用程度なら『壁打ち専用コート』あっても良いと思います。高齢者や初心者が自分のペースで気兼ねなく楽しむことが(レベルアップも?)出来ると思います。
是非検討していただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

【下記の通り回答しました】

城山庭球場の12面中1面を「壁打ち専用コート」に改修する提案ですが、本施設は県内でも利用者数が非常に多い施設であり、大会も年間を通して数多く開催されております。特に高校生以下の大会では全面を使用して開催しており、面数が減ることは大会運営に支障があるため、現状では12面のコート維持が妥当と考えております。

ご提案いただきました内容につきましては、今後大規模な改修が必要となった際の参考とさせていただきます。

27 城山総合体育館周辺の駐輪マナーと駐輪場の設置について

<令和6年2月9日>
(匿名)

これから春先に向け、あたたかい日が続き、外で遊ぶ機会が増え、体力づくり、健康づくりに各施設に行きます。

昨年、中学生・高校生？自転車で来て、施設周辺に置き、大変見苦しく、歩行に困難する所もあります。特に円形体育館、テニスコート、駐輪場の設置の検討。
(中には、自転車置き場はどこですか？と聞く人もいましたが・・・答えられませんでした)

【下記の通り回答しました】

城山運動施設区の各体育施設における駐輪場については、ご指摘のとおり城山市民プール(二本松しんきん城山プール)を除いて設置されていない状況であり、施設利用者には空きスペースに駐輪いただいているのが現状です。今後は、駐輪スペースの表示をし、利用者に周知していきたいと考えております。

なお、駐輪場の整備につきましては、経費も掛かることから、今後、大規模な改修を行う際の参考とさせていただきます。

28 二本松第二中学校への送迎車両駐車場および街路灯の設置について

<令和6年2月21日>
(錦町 高野 せな)

二本松第二中学校駐車場・街灯について
中学校の送迎時に一年生だけ体育館側の路上に止めて乗り降りするため大変危険であるため、学校の敷地内に駐車場をつくってほしい。それが無理であれば街灯をつけてほしいです。

【下記の通り回答しました】

中学校への通学につきましては、徒歩及び自転車によるところですが、生徒の皆さんのさらなる安全確保等の観点から、自家用車による送迎が多く、学校では以前から朝夕の送迎混雑及び事故等を避けるために、学年ごとに送迎車の振り分けがなされています。

駐車場の造成につきましては、現在の学校活動に必要な広さを確保していくことも大切なことであることから、限られた敷地において新たな駐車場を確保することは、大変難しい状況にあります。改めて、送迎時における安全運転及び生徒皆さんの安全確保の周知徹底について、中学校と話し合っただけだと考えております。

また、街路灯につきましては、現在、中学校下の市道大稲場・トロミ線に、防犯も兼ねて街路灯が設置されており、安全確保に努めているところです。街路灯の増設に関しましては、中学校とその必要性について話し合っただけです。

29 ガラスバッチの配付および広報紙への放射線量測定マップの掲載等の終了に伴う、放射線への不安について

<令和6年2月8日>

(匿名)

二本松市での WBC ガラスバッチが終了します。毎年やっていただけに、残念でなりません。二本松市放射線量測定マップも令和5年度からありませんでした。令和4年度時点で国の基準の $0.23\mu\text{Sv/h}$ を下回っていない地域もあったのに、なくなったのはなぜですか。木村先生は以前、ずっと気をつけなくてはならないと言っていました。なぜ、全てなくすのですか？

この先、広報の市内の環境測定、自家消費農産物の測定結果等、放射能に関するものは全て無くなっていくのでしょうか。

原発事故の時、小さかった子供も、何事もなく成長はしてきましたが、まだ完全に放射能の影響に対する不安がなくなったわけではありません。このまま放射能に関するものを目にする機会が減り、あの東電による事故を忘れられるのではないかと思うと不安です。分からない事だらけの放射能です。これから病気が見つかるかもしれません。二本松市として、市民に忘れられないように、長期的に放射能問題に取り組んでほしいです。

【下記の通り回答しました】

令和6年度からの放射線健康対策といたしまして、ガラスバッチの代わりとして「デジタル式積算線量計」をご希望される方に安達保健福祉センターで貸出し予定でございますのでご利用ください。「デジタル式線量計」は身につけていただくことでどのくらい放射線を受けたかが表示されるためすぐに線量が確認できる機器です。

また、WBC での内部被ばく量検査は、県で実施しております検査をご案内することとなります。近隣の検査会場は福島市保健福祉センター(毎週土曜日)や郡山市保健所(毎週金曜日)となり予約が必要となりますが無料で検査を受けていただけます。ご不便おかけしますが、よろしくお願いいたします。

次に、空間放射線量率メッシュ調査(放射線測定マップ)については、平成23年度から令和4年度までの12年間実施いたしました。

その結果、市全地区の平均空間放射線量は、平成23年度の $1.11\mu\text{Sv/h}$ から令和4年度 $0.10\mu\text{Sv/h}$ に低減し、 -91.0% となっております。

市内全域の平均的な空間線量率が $0.23\mu\text{Sv/h}$ 未満となったことから、令和5年3月31日をもって汚染状況重点調査地域の指定が解除され、これにより放射線測定マップの作成も終了いたしました。汚染状況重点調査地域の指定解除後も、市内に設置されたモニタリングポスト・リアルタイム線量計

の測定情報を発信するとともに、本庁及び各支所で自家用消費野菜等放射能検査を行い、市民の皆様の安心安全確保に努めております。

30 敬老会の開催における地域差について

<令和6年2月9日>

(表 紺野 和子)

敬老会の事です。表の区長さんから、75才以上の方に渡してください。と記念品を預かりました。「今年も敬老会が出来ないのか。コロナ前に亡くなった母が出席する事を楽しみにしていたっけ」と思いだして寂しくなりました。しばらくして運動のサークルでこんな事を聞きました。男女共生センターで「敬老の演芸会があつて楽しかった」との話です。「あれ？敬老会が開かれたの？」旧市内7町だけで行われたとの事。同じ二本松市民なのに古い考えのようで疑問に思いました。出席できるかは自由でしょうが、全市民に声かけすべきではないでしょうか。又聞きですので間違っていたらごめんなさい。

【下記の通り回答しました】

本市の敬老会につきましては、従来は、市が各地区団体に委託して地区ごとに開催しておりましたが、委託団体等の実情が地区により異なりますことから、今年度より各地区団体が実施可能な形式で敬老事業を行うことができるようにいたしました。今年度、塩沢地区においては、75歳以上の方へ記念品を配付する形式で敬老事業が実施され、二本松地区では敬老の演芸会という形式で実施されたところですが、亡くなられたお母様が敬老会を楽しみにくださっていたとのことではありますが、実施団体等の実情を踏まえ、何卒、ご理解賜りたいと存じます。

31 道路のセンターライン、ゼブラゾーン、横断歩道の白線について

<令和6年2月8日>

(下川崎 服部 寛)

道路のセンターライン又ゼブラゾーン、横断歩道などの白線はどう考えておられますか？

【下記の通り回答しました】

道路のセンターラインやゼブラゾーンについては、毎年計画的に通学路等を優先に整備しておりますが、短い範囲でラインが消えている又は消えかかっている箇所については、現地状況を確認しながら引き直しを行っております。

横断歩道及び黄色のセンターライン等の引き直しについては、公安委員会の所管となりますので警察署にお願いして引いていただいております。

32 宅地周辺の立ち木による日当たりの悪さについて

<令和6年2月14日>

(矢ノ戸 大関 博文)

宅地より20m位の所に檜木を植えられ、年々成長して来て、今では木も大きくなりこれからの季節陽当たりが悪くて、いろいろと困っています。宅地だけでなく、畑や道路など雪が降ってくると、道路が凍ってなかなか溶けず、冬の事故の多い所です。今の家のとなりに2軒あったのですが、移転してしまいました。これからも木が成長してくると移転などしなければと心配しています。良い対策はないでしょうか？三保さんたのみます。

【下記の通り回答しました】

この度ご相談いただきました件についてですが、個人所有の山林については土地の所有者に所有権がありますので、市での伐採対応等はできかねますことご理解くださいますようお願いいたします。

また、道路の凍結による事故の多発についてですが、当該道路は県道となりますので、ご相談についてはお手数ですが「福島県二本松土木事務所」(住所:二本松市金色424番地11 TEL 0243-22-1151)までご相談をお願いいたします。

33 ふれあいの森公園の整備について

<令和6年2月9日>

(匿名)

よく城山や遊歩道でウォーキングをしている者です。城山周辺や遊歩道は除草や伐採など、よく整備されており安心して利用しています。

一方、二伊滝にある「ふれあいの森公園」にも複数回訪れていますが階段がくずれていたり、トイレはひどい状態、夏は雑草だらけで利用する気になれません。残念です。また公園までの道幅が狭くて、対向車とすれ違おうのがやっとなり、側溝にはまっている車も何度か見ました。野鳥観察に来ている人もいるので、ロッジ・トイレ・道路の整備の検討をお願いします。市のHPにも載せているのですから、安心安全な公園にしてほしいと思います。

【下記の通り回答しました】

ご意見を頂きました園内施設等の老朽化に伴う修繕につきましては、施設のあり方も含め財政面等を考慮し計画的に実施できるよう検討して参ります。

また、園内の除草につきましては適宜状況を確認しながら実施することといたします。

ふれあいの森公園に自動車で来場の際は、園内の道路の幅員が狭いことから、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

34 東和地域の実情と市民との協働による地域づくり支援事業について

<令和6年2月7日>

(太田 菅野 拓)

私は西谷自主防災会会長の菅野 拓と申します。

市長や市役所職員の方たちは、地域の実情を把握しているのでしょうか？東和地域はどの地域も限界集落を向かえていると思います。御多分に漏れず私の地域西谷区もかつては44戸の個数を数えていましたが、今や28戸と激減しています。そんな中、高齢者世帯と一人暮らし世帯10件となっております。ますます減るでしょう。

そんな区民から自主防災会で何かをしようと計画を立てようとしたとき、市民との協働づくりに補助金申請をしようとしても、例えば40万の計画を立てたなら補助金が出ても最大で70~80%の補助金では各家庭から5,000~1万円のお金を出してもらうことになります。年金暮らしで生活している所から出してもらうことができず、5年度の申請を断念しました。県や市政で推奨をしている市民との協働づくりには参加したくても参加できなくなります。

例えば、10万円何かやってください、その代わり領収書はしっかり出してと言われれば、やる気力が湧きますが、どうか今のシステムをかえてもらうことがあれば幸いです。このままでは自主防災会は自腹を切って運営する事は無理です。今までは心肺蘇生法や、高齢者世帯や一人暮らし世帯

を回ってますが限界にきています。どうか実情を理解して下さい。

【担当課で電話連絡し、地域の実情について改めてお話を伺ったうえで、当該事業の趣旨についてお伝えしました。】

36 広報にほんまつへのクロスワードパズル掲載の提案について

<令和6年2月13日>

(上川崎 安齋 政勝)

広報にほんまつにも、JA ふくしま未来の広報にあるクロスワードパズルのようなクイズを考えてはいかがでしょうか。よろしくお願ひ致します。正解者10名様位にティッシュ1箱やトイレットペーパー2.3個とか、これぐらいの景品なら、なんとかなると思います。老若男女少しは頭の体操とボケ防止になるのでは…。

【下記の通り回答しました】

広報にほんまつの内容につきましては、ご提案いただきました内容を参考にさせていただきながら、今後も改良を重ね、よりよい広報紙となるよう努めて参ります。

37 冊子「ごみの分け方・出し方」の更新について

<令和6年2月15日>

(匿名)

ごみの分け方・出し方についてですが、出し方の冊子を以前に作っていただいたとは思いますが、それからまた年月がたったので市内への転入や転出も結構あったと思うので、ゴミの出し方も分からない人も多いと思いますので、また新しい物を作ってはどうかと思ってます。かくいう私も時々これって何だろうって思ってしまうような物が出てきたりして捨てられなくてそのままとってあったりしてありますので、検討の方をよろしくお願ひします。

【下記の通り回答しました】

ご提案いただきました「ごみの分け方・出し方」の冊子につきましては、変更があった場合には、広報にほんまつで周知するとともに市ウェブサイトで公開し、希望者には冊子の配付をしております。

また、市内への転入手続きをしていただいた方に対して冊子をお渡しして、住民の方々にごみの適切な分別のご協力をお願いしております。

なお、冊子を見て分別の判断に困る家庭ごみがある場合、二本松市役所生活環境課までご相談いただければと存じます。

冊子は市役所本庁及び各支所に備えておりますので、お近くの方にもお取り寄せするようお声がけいただければと存じます。

38 家庭からの廃油リサイクルについて

<令和6年2月15日>

(下川崎 服部 町子)

家庭で使った廃油を市で回収してリサイクルできないでしょうか。(サラダ油など)

【下記の通り回答しました】

家庭で使用された廃油につきましては、現在二本松市内において、JA ふくしま未来各営農センター及びこらんしょ市二本松店、社会福祉法人あおぞら福祉会菊の里、二本松商工会議所取扱店にて、植物性廃食用油の回収場所を設置しております。

回収された廃食用油はディーゼルエンジン燃料として再生化し、福島交通でバス等に利用されています。

化石燃料の使用量減少等、地球温暖化の対策にもつながりますので、不要となった食用油がある場合は、上記回収場所への持込にご協力いただければと存じます。

40 家の前への犬の糞の放置について

<令和6年2月15日>

(匿名)

犬の散歩で、いつも家の前の塀の決まった所に糞をさえたまま持ち帰らない飼い主がいます。市役所からの表示板を立ててはいるのですが、いっこうに後始末をしていかないのでも嫌な思いをしています。

【担当課で訪問、直接聴き取りのうえ、広報紙への啓発記事の掲載することと、原因者が特定できた場合の直接指導を行っていることをお伝えしました。】

41 水遊びのできる公園等の整備について

<令和6年2月15日>

(匿名)

私は、孫3人(6歳~1歳)がいる祖母です。近年の温暖化の為、異常に暑い夏は公園の遊具が熱すぎて孫達を遊ばせることができないので、冷たい水遊びをさせるのに“みずいろ公園”や“四季の里”まで出かけてます。でも、せっかく二本松市にも水が流れていて風車もある“安達ヶ原ふるさと村”があり、活用されていないのは残念です。今すぐとは無理だと思いますが、是非、小さい子供達も水遊びできる広場を作ってもらえれば、今まで以上に親子連れや私のように孫守りする祖父母も増えること間違いありません。是非、検討よろしくお願い致します。人口増加にもつながると思います。

【内容を確認し、礼状を送付しました。貴重なご意見ありがとうございました。】

43 火葬炉の増設について

<令和6年2月19日>

(匿名)

高齢化につき葬式がふえる、葬式が遅れる。それは火葬場が予約が取れない。葬式が終わった頃は初七日になってしまう。若者は働きに行けない。遠くから来た親戚は帰れないと負担が大きい。

火葬場の釜を1つ追加してもらいたい。私も高齢者ですので、子供達に負担をかけたくない。

【担当課で内容を確認しました。貴重なご意見ありがとうございました。】

45 ごみの減量化における静岡県三島市の取り組みについて

<令和6年2月22日>

(匿名)

あるTVで静岡県三島市の市独自のメルカリの放送がありました。まだ使用できるものを粗大ゴミや不燃ゴミとして処分せず、より多くの市民にメルカリを利用してもらい少しでも焼却炉の費用に当てているとのこと。不要なものは必要な人の元に届くエコな取り組みは素晴らしいと思いました。

引っ越しや家の片づけなどで、まだまだ使用できるものを処分せざるを得ない、胸の痛い思いをした経験のある人は多いのではないのでしょうか。もう一度有効活用して市民の意識が高まりゴミが減るといいですね。

【内容を確認し、礼状を送付しました。貴重なご意見ありがとうございました。】

47 小中学校の教科書等持ち帰りについて

<令和6年2月28日>

(匿名)

小・中学校の置き勉強について。

毎日毎日重いランドセル・通学カバンを背負って登下校しています。教科書等を置いていくと先生に怒られる。机中をみんなの前に置かれてはすかしめにあう。ランドセルは軽くなっていますが、それでも5kg～10kg、中学生は8kg～15kgにもなります。大事な大事な成長期の今、なぜそこまでして全て持ち帰らせるのか意味が分かりません。学校によって、校長によって、担任によってなのかもしれませんが、誰に言ったら改善されるのでしょうか。市長がランドセルを背負っている写真を拝見しました。中学生のカバン、背負ってみてください。そして重さに気付いたら周知してください。必要なものを持ち帰るのは、自分で考えさせるべきでは。

【担当課で内容を確認しました。貴重なご意見ありがとうございました。】

48 阿武隈川右岸・左岸(高田橋～安達橋)の整備について

<令和6年2月28日>

(平石高田 渡邊 よし子)

退職を機に思う事は、第二の人生、健康に生きる事。誰もが思う事ではないかと思えます。私が住んでいる平石高田には、阿武隈川が流れ、護岸工事がされ、川を見ながらの散歩は最高なのですが、残念な事に高田橋の平石側の一部分、向いの高田側も一部分、上竹側も安達ヶ橋付近も一部分で途切れています。高田橋から安達ヶ橋の右岸・左岸に桜の木を植樹し整備され、一周できれば、散歩コースとして健康増進、観光面からも良いと思えます。市民の意見として提案します。

【内容を確認し、礼状を送付しました。貴重なご意見ありがとうございました。】

49 介護施設の新設について

<令和6年3月6日>

(上川崎 安齋 宗作)

人生100年時代と言われ、長生きできる事は、大変喜ばしい事ですが、一方では介護施設へ入所する様になっても、年金だけで入れる所は少なく羽山荘等も何十人もの申し込みがあり、なかなか入

所できないと聞いています。一般の施設は月 15 万位かかるといわれ、不足分は子供達が余裕のない生活の中から工面して、大変だという話がよく聞かれます。市では羽山荘のように年金で入所できる施設を作る予定はあるのでしょうか。中央では何十億という金を裏金として口をぬぐっている。一方では親の介護で苦勞している。変な世の中です。

【下記の通り回答しました】

介護保険施設等の施設整備につきましては、アンケート調査等を基に、必要となる施設の種類及び規模等を決定し、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に定めて整備することとなっております。施設を整備する事業者は公募により選定し、選定された事業者は県補助金等を利用して施設を整備することとなります。

なお、現在策定中の令和 6 年度から令和 8 年度を計画期間とする計画においては、施設整備の計画はございません。

また、羽山荘等の待機者については、従来よりも減少しているようですので、入所を希望する際には各施設に直接お問い合わせくださるようお願いいたします。

50 市道山中・羽黒線の側溝のつまりについて

<令和 6 年 3 月 8 日>
(米沢 二階堂 和幸)

市道山中・羽黒線の草刈りボランティアを年 2 回している者です。松ノ木内鉄塔付近から、市の給水タンク入口付近まで行っています。毎年落ち葉で側道の U 字溝がつまり固まりとなっている所が有ります。私 1 人作業では困難なため、申し訳ありませんが、市の方でその撤去作業をお願いします。

【下記の通り回答しました】

日頃より道路の愛護活動にご協力いただきありがとうございます。

現地調査を行ったところ側溝内に堆積物を確認いたしましたので、計画的に撤去作業を行います。側溝の排水状況によりお困りの際には、安達支所産業建設課にご相談ください。

51 犬の糞放置禁止看板の設置について

<令和 6 年 3 月 6 日>
(匿名)

いつも利用している道端についてお話しさせていただきます。

土手の短い草の生えている場所に一年中、犬の“ふん”があちこちに点在しておりまして、とても悲しく思っております。その場所は市道の長谷堂に行く手前の水田地帯を右に曲がって二本柳の下原の方へ向かう道の右側の土手です。

今日も 10 時頃に私は通りましたが、まだ、乾燥していない真新しいうんちが山積みでした。犬を飼われている方はきちんと処理を下さるよう望みます。

市の方としても注意を下さるような、せめて、立て看板でも立てて頂きたく思います。よろしくお願い致します。

【下記の通り回答しました】

安達支所地域振興課市民福祉係において現地調査をおこない、実際に動物のふんが広範囲に散財していることを確認いたしました。

つきましては、当該道路沿いの視認しやすい場所 2 箇所、「ペットのふんは持ち帰りましょう」と、飼い

主に呼びかける看板を設置させていただきましたので、お知らせいたします。

看板を設置したことで、今後状況に改善がみられるか、または付近に生息する野生動物がおこした行動の結果なのか、継続して注視して参りたいと考えております。

52 ①戒石銘碑の苔の除去について ②戒石銘グッズの販売について

<令和6年3月14日>
(匿名)

お願いと提案

- 1、国指定の二本松戒石銘の苔の除去を昨秋には、16文字が苔で殆ど読めない状態でした。今春は少し読めるようになりましたが、全体戒石銘の苔を洗い流し、読み取れるよう桜シーズン前までに願います。
- 2、戒石銘のデスク型スタンド置物の頒布しては。
国内が裏金問題で国民的不満が噴出している中、16文字に表現している戒石銘(二本松)を理解する絶好の機会であると考えて、公園内販売店や城報館で解説書をセットで¥1,000程度で販売、普及してはと提案いたします。

【下記の通り回答しました】

はじめに、戒石銘の苔の除去については、国史跡に指定されておりますので、対応には慎重を期す旨ご理解いただければと思います。

次に、戒石銘のデスク型スタンドを解説書付きで作成、販売してはとのご提案については、戒石銘の理念を広く知らしめる方法として有効だと考えますが、作成経費等も考慮しながら戒石銘のPRについて研究、検討させていただきたいと思っております。

なお、現在戒石銘にかかる頒布物としては、拓本(500円)及び扇子(1,500円)があり、いずれもにほんまつ城報館で販売しております。

55 水田および住宅が面していない道路へのポイ捨て対策について

<令和6年3月19日>
(匿名)

ゴミのポイ捨てについて

昨年のごとですが、作付していない水田に久しぶりに行ってみると、空き缶、空きビン、その他諸々のゴミが沢山捨てられていました。いつも同じ缶コーヒーであり、缶酎ハイもありました。また、最近の道路状況を見ましても、市街地にはゴミは無いように見受けられますが、ひとつ離れた住宅のない道路では、買い物袋ごと、道路沿いに捨ててあることを多々見かけるようになり残念です。水田近くの道路沿いに大きな電球が捨てられている時もあり、驚きました。スーパーやコンビニが多くなり、便利になった反面、ゴミ処理のマナーが守られていないことには、綺麗なまちとは言えないと思っておりました。住んでいる近くの者としては大変残念でなりません。食べ物を作っている田んぼ付近にゴミを捨てられるのは、大変困ります。何とか対策をして頂けないでしょうか？

(129号線4号バイパスから旧4号線に繋がる道路とその付近の道路)

【担当課で訪問、現地調査を行いました。市道においては安達支所にて清掃を実施し、県道については二本松土木事務所に報告しました。また市で作成している不法投棄注意喚起の看板を設置することも可能であることをお伝えしました。】

56 二本松地域子育て支援センターの閉鎖および子育て支援情報の発信について

<令和6年3月25日>

(匿名)

子育て支援センターをなくさないでください。

少子化に「利用者の減少が理由とのことですが、少子化の今だからこそ必要な場所です。閉鎖する前に利用者を増やす、本当に必要としている人に子育て支援センターの存在を知らせるということをやったのでしょうか？他市町村ではインスタ等SNSを使った広報活動が当たり前です。広報紙、センターのおたより等、髪媒体では限界があると思います。アプリのイベント情報は更新が遅いです。郡山のポップキッズ、本宮のえぼか等を参考にしてほしいです。「mama になるならにほんまつ」に逆行する今回の支援センターの閉鎖は本当に残念です。子育て世代の声を聞いて下さい。産科がないなら、せめて出産後の支援を充実させて下さい。

【担当課で内容を確認しました。貴重なご意見ありがとうございました。】

57 二本松市民交流センターへ展示中の日本大学工学部生卒業設計作品について

<令和6年3月25日>

(匿名)

先日、駅前の交流センターに、市内在中の日大工学部建築学科の加藤涼さんの卒業設計作品の展示がありました。市内のシャッター街となっている場所や裏町の暗い場所などを未来につなげるような作品でした。日常的に賑わいを取り戻す商店街にしたい思いが取り組まれていました。普段から二本松の伝統である「ちょうちん祭り」をメインとした新時代の加藤涼さんの考え方、商店街に住んでいるからこそこの思い、これからの市内の活性化を目指す、とても素晴らしい作品です。是非、1度目を通して、昔の市内の明るく賑わいのある市内となるように見学をし、考えていただきたいです。

この先、5年後、10年後、20年後、今の若い人達の未来に向けて。

【担当課で内容を確認しました。貴重なご意見ありがとうございました。】